



# Fellow's Report

令和7年

《7月号》

＝ものづくりの仲間から＝

## 令和6年の職場における熱中症発生状況

令和7年5月30日（金）付けで、厚生労働省から、令和6年の「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」が公表されました。令和6年における職場での熱中症による死傷者（死亡・休業4日以上）は、1,257人（前年比151人・11%増）でした。この内、建設業は18.1%、警備業は11.3%占めています。

また、熱中症による死亡者数は31人（前年度と同数）発生しています。死亡災害の多くの事例では、重篤化した状態で発見されるケース、医療機関に搬送しないケースなど、初期対応の遅れや放置が見られました。多くの事例で暑さ指数（WBGT）を把握せず、熱中症予防のための労働衛生教育を行っていませんでした。また、糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病を有している事例も見られました。7月1日～7日は全国安全週間ですので、積極的な労働災害防止活動の実施をお願いします。

前号で紹介した通り、6月1日から改正労働安全衛生規則が施行され、事業者には熱中症対応が義務付けられていることにご留意ください。

### 【職場における熱中症による死傷者数の状況（令和6年）】

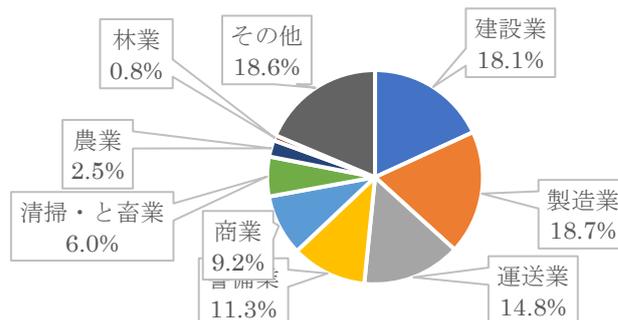
- ① 熱中症の死傷者数をみると、建設業で228件、警備業142件発生しました
- ② 死亡災害については、建設業が10件と最も多く、警備業では2件発生しました

職場における熱中症による死傷者数の状況（人）

建設業	製造業	運送業	警備業	商業
228	235	186	142	116
(10)	(5)	(3)	(2)	(2)
清掃・と畜業	農業	林業	その他	計
76	32	10	232	1,257
(2)	(1)	(0)	(6)	(31)

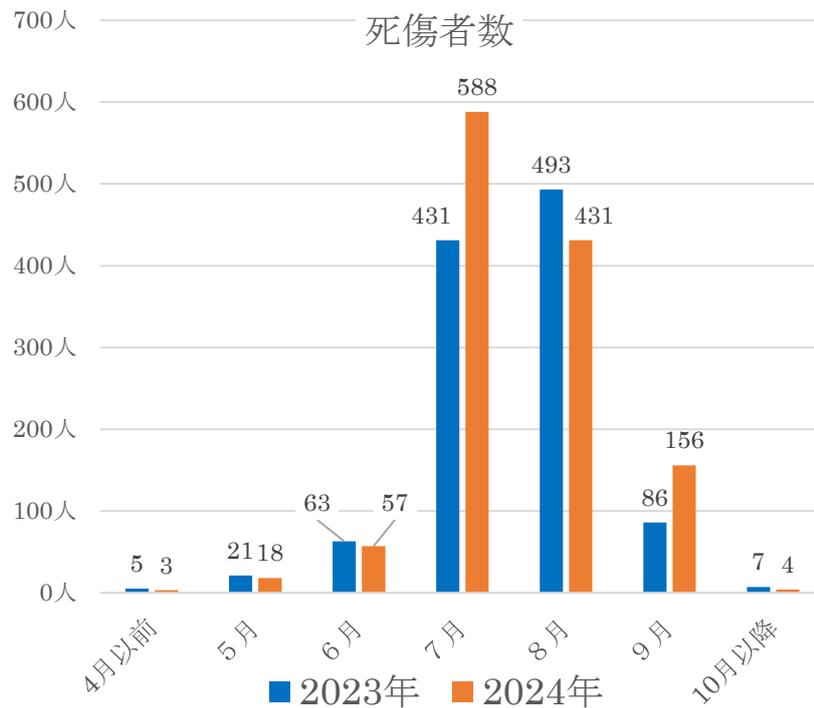
※（ ）内の数値は死亡者数で内数である

熱中症による業種別死傷者数の割合（令和6年）

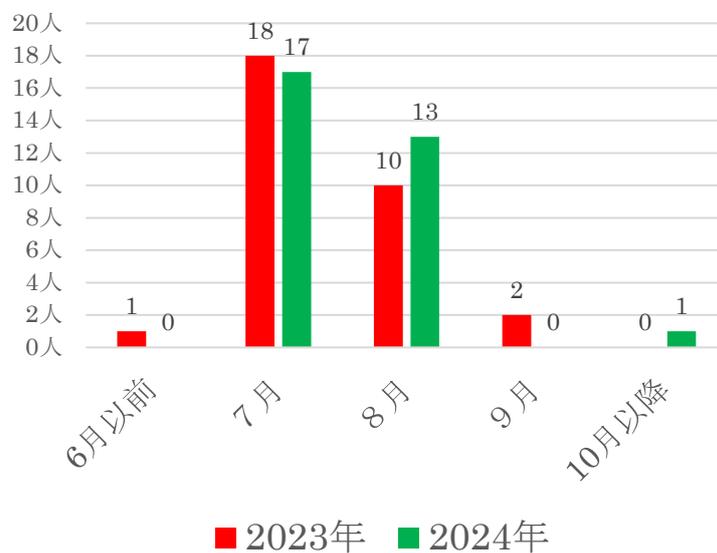


### 【月別発生状況（令和6年）】

令和6年の月別熱中症の死傷者数をみると、7月が最も多く588人、1257人に対し約半数です。死亡者数は7月が最も多く17人、次いで8月が13人です。



### 死亡者数（死傷者数の内数）



出典根拠：厚生労働省ホームページ

ホーム>報道・広報>報道発表資料>2025年5月>令和6年「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」（確定値）を公表します

[令和6年「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」（確定値）を公表します | 厚生労働省](#)